



「つながる。ハーベスト」第6弾

富良野市トマール&エベルサ

西川 斐子 氏



富良野からつながる  
エピソード

「こちらでの人の出会いから、何か新しい取組が生まれたエピソードはありますか？」

北海道のオススメのワーク施設とそこで出会いを創り出すコンシェルジュを「紹介する」つながる。ハーベスト」。

その第5弾は富良野特集として、まずはホステル「トマール」&キッチン「エベルサ」を運営するBeing(株)の西川斐子さんにお話を伺いました。

トマール & エベルサとは？

富良野駅からほど近い「コンシェルジュフラノ」内にある、エベルサでお話を聞いていますが、「こちらと上の階にあるトマールは、どういったコンセプトの施設が教えてくださる？」

元々、この建物は百貨店だったので、閉業して空きビルとなっていたところをリノベーションし、2018年に複合施設「コンシェルジュフラノ」として開業しました。

「トマール」と「エベルサ」も同年から運営していますが、「コンセプトは一言で言うと「またね」です。来て終わりはなく、何回も通ってもらえるお客様を沢山つくることで、継続して運営していると考えています。

「実際に、帰られる方を「またね」と送り出しているのでしょうか。」

そんなことはなくて(笑) また来てくれるようにとの思いをこめて、「いつてらっしゃい！」と送り出しています。また、この場所の雰囲気をつかってもうために、掲示物などの文字に柔らかいフォントや色を使い、気軽に来て楽しんでいただきたく工夫をしています。

「トマール」で宿泊の方も、合間に「エベルサ」で仕事されたりと、「ワーキングスペース的な使い方も出来ますね。」

そうですね。「エベルサ」は今年、レストランではなくカフェラウンジとして営業していますが、電源もありWi-Fiも使えるので、ワーキングスペースとしても利用できます。

つながる。HUB

ホステル「トマール」&キッチン「エベルサ」

富良野市中心部の「コンシェルジュフラノ」内の施設。「トマール」はリーズナブルな料金で宿泊でき、共有のシェアキッチンや宿泊個室をワークルームとして貸出も行っています。



ワーク利用も可能な「エベルサ」

「エベルサ」は現在カフェラウンジとして営業しており、電源・Wi-fiを利用しワーキングスペースとして利用が可能です。

住所：富良野市本町2-27 コンシェルジュフラノ内  
HP: tom-eve.com/t\_index.html?lang=ja

富良野市へのアクセス

- 札幌市からバスで約180分
- 旭川市からバスで約100分



トマール&エベルサホームページ

「トマール」のシェアキッチンでの出会いは、思い出せないほど沢山あります。当たり前前に飲みに行く仲にはなりませんし、連れ立って近場に旅行に行つた方もいらっしゃると思います。あと、シェアキッチンでの出会いを通して自分の仕事を依頼した方もいます。

あと、泊まつた方がそのままうちで働くなんてことも多くて、ちょうど二週間前に旅行で初めて来て、一週間前から働き始めた方もいるんですよ。働く場所を探している方には、市内の飲食店等を紹介することもあります。公的機関で求人票をみる方法もありますが、人伝いに紹介した方が、どんな人からも分かるし、

つながる。インタビュー



「エベルサ」で想いを語る西川氏。開放的なスペースは電源・Wi-fiも使用でき、快適にワークできる。

「訪れた方から富良野のおススメなど質問されることもあると思いますが、どのように答えているのでしょうか。」

富良野は狭い街ですが、ご飯屋さんや沢山あるので、どこ出身で、何を求めている、どういったものが好きなのかという背景を聞いてからご紹介するようにスタッフにも共有しています。それがサービスだと思っているので、また戻ってきてもらえるように取り組んでいます。

「最後に富良野にこれから来られる方にメッセージをお願いします！」

観光案内所も所在する「コンシェルジュフラノ」に来ていただければ、その方にあつた富良野の楽しみ方をご紹介出来ます！四季折々楽しめるアクティビティがあり、雲海など、富良野の人も最近発見した新たな魅力もあるんですよ。

あと、実は富良野の方は人懐っこいので(笑)、是非積極的に話かけてもらえばと思います。

日本ワーケーション協会公認  
ワーケーションコンシェルジュ

齋藤 雄一氏



富良野特集、続いては市内を中心に飲食事業等を運営する傍ら、日本ワーケーション協会公認の「ワーケーションコンシェルジュ」を務められている齋藤さんにお話しをお伺いします。

ワーケーション  
コンシェルジュとは？

齋藤さんは、昨年「ワーケーションコンシェルジュ」として活動されていますが、具体的にどのような活動を行っているのでしょうか。

主に、富良野にワーケーションで訪れる方に、富良野の魅力や、ワーク・体験施設等をご紹介したり、ワーケーションに関する意見交換をさせていただいてます。

基本的には富良野市役所に寄せられたワーケーションの要望や、市の打ち出す事業に基づいて活動しており、先日行った「富良野ワーケーションチャレンジ」では交流会や参加者対象のオプションツアーを企画するなど、地域関係者と連携し、取組を進めています。

これから富良野でワーケーションしようとしている人は、どこに相談すればよいでしょうか？

まずは、富良野市の公式サイト「ワー

ケーションプラノ」や北海道型ワーケーションポータルサイトを通して、富良野市へご相談いただければと思います。

個人でのワーケーションから企業研修に至るまで、場合によっては費用が必要となることもあります。プランのコーディネートをお手伝いします。

「富良野ワーケーションチャレンジ2022」とは？

つながる。イベント

富良野市のワーケーションの今後の方向性を見出す目的で、全国から37名の経営者や会社員等が参加し、6月中旬に開催されたイベント。

参加者は、「環境教育プログラム」「コミュニケーション向上ワークショップ」などのプログラムを選択し参加、最終日には振り返りミーティングと題して参加者がグループワークを行い、富良野市の今後のワーケーションのあり方を議論しました。



イベント詳細は「ワーケーションプラノ」HPもご覧下さい



<https://furano-workation.com/>

富良野での

ワーケーションの魅力

個人でも企業でも、ワーケーションでの滞在をサポートいただけるのは、大変心強いですね。

齋藤さんのこれまでのコンシェルジュ活動で印象深いことを教えてください。

先ほど触れた「富良野ワーケーションチャレンジ」では、全国各地から訪れた方々に、助成に頼らず体験プログラムの実費を負担いただく形でご参加いただきました。

また、運営側も、自分達に過度な負担とならない形で、交流会やオプションツアー等の企画を行うことで、持続可能なワーケーションイベントの実施の形をつくることが出来ました。

最後にスバリ！富良野でのワーケーションの魅力はなんでしょうか。

皆さんおなじみのTVドラマ「北の国から」をはじめとする文化が、富良野市の大きな魅力です。

単なるテレビのロケ地巡りではなく、自然環境や人の生き方、人の魅力を様々なプログラムを通して体感していただけたいと思います。

日本全国各地、どこも食や自然、文化・芸術、人の魅力に溢れています。その中でも富良野を選んでいただけるように、官と民が一つになってワーケーション推進に取り組んでいます！

ありがとうございました！

次回の「つながる。ハーベスト」は、10月頃の公開を予定しています。

合同会社 ドルスイフト プラニング  
代表社員 齋藤 雄一氏  
(日本ワーケーション協会公認コンシェルジュ)

札幌市出身。製菓調理の専門学校を卒業後、フレンチレストランやフランス菓子店の勤務や、レストランチェーンのマネジメントを経験。

2013年に富良野市へ移住し、現在は飲食事業を中心に、アウトドア事業やコンサル事業を展開している。

2021年に、地元のデザイン会社や宿泊事業者と共に一般社団法人MEGURUを設立し、現在は富良野市を中心に、ワーケーションなど関係人口創出に向けた事業に関わっている。



つながる。ヒト

Being(株)代表取締役  
西川 斐子氏  
(「トモール」「エベルサ」支配人)

富良野市出身。高校卒業後、進学により富良野を離れ、道外の病院での栄養士としての勤務や、健康食品の接客・営業を経験。

2015年に富良野に戻り、実家の食品会社「(株)北の恵」へ入社。2018年から同社の事業として、「トモール」「エベルサ」の支配人を務める(2022年にBeing(株)として独立)。

2020~21年にかけては、市内の官民による「富良野市ワーケーション受入研究会」の座長をつとめる。

つながる。ヒト